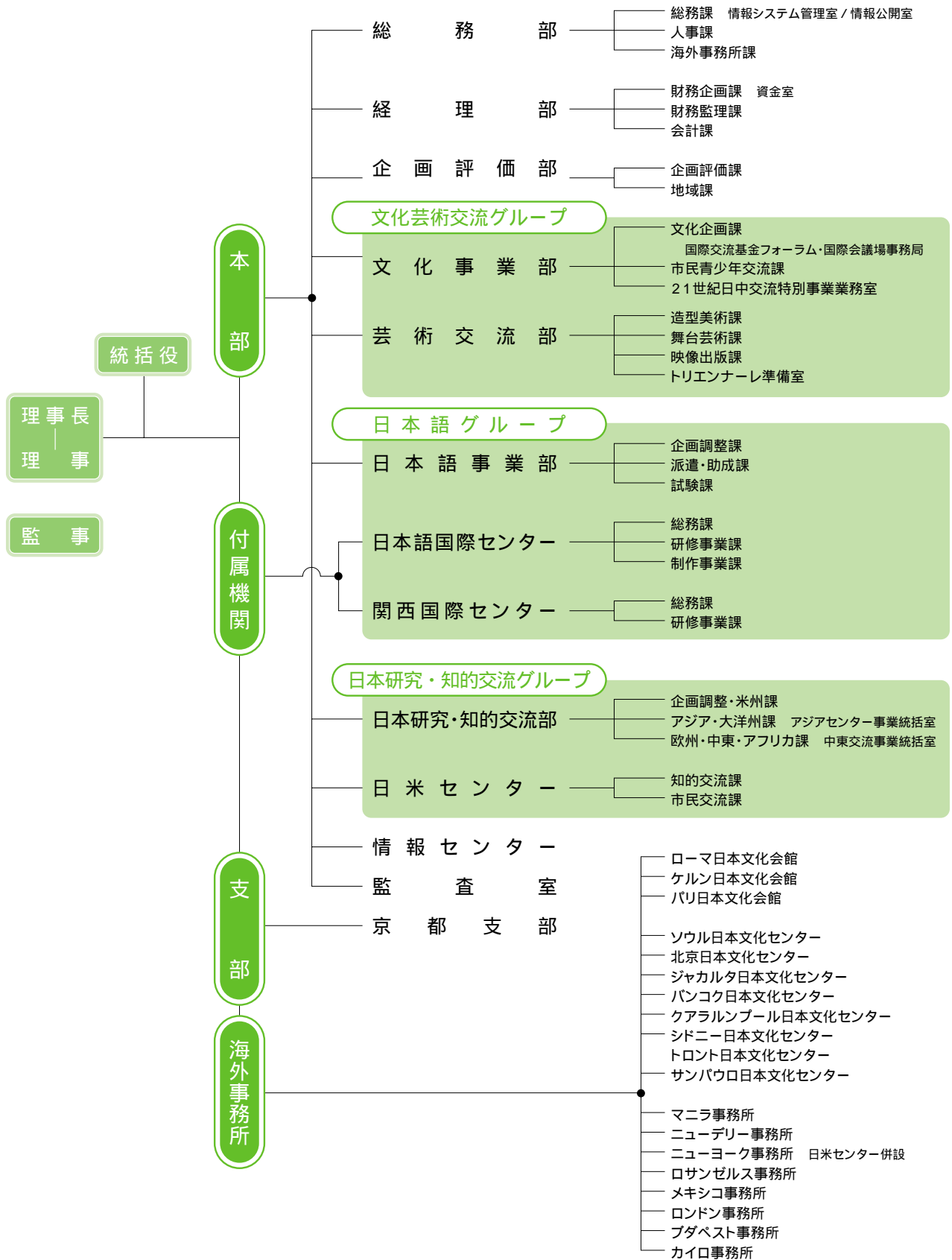


組織

組織図 (2005年3月時点)



[国際交流基金評価に関する有識者委員会]

委員会は、理事長の諮問に応じ、基金の事業および関連の業務について評価を行なうとともに、業務の改善やそのために必要な方策について意見を述べる諮問委員会である。メンバーは、国際交流分野及び基金の活動につき造詣の深い有識者、学識経験者等で構成されている。

委員（五十音順、敬称略）

浅海 保	読売新聞編集局次長	曾田 修司	跡見学園女子大学教授
岩男 寿美子	武蔵工業大学教授	高階 秀爾	大原美術館館長（座長）
片山 正夫	セゾン文化財団常務理事	埴 章次	東京電力顧問
佐久間勝彦	聖心女子大学教授	御厨 貴	東京大学先端科学技術研究センター教授

2004年度は、以下のとおり会合を行なった。

- 第1回 開催日：平成16年6月1日(火)午後2時～4時
議 題：(1)国際交流基金の業務運営改革について (2)国際交流基金事業の評価(ケーススタディ) 他
- 第2回 開催日：平成16年6月22日(火)午後2時半～4時半
議 題：(1)平成15年度国際交流基金業務実績の外部評価 (2)事業実施の状況をふまえた今後の課題について 他
- 第3回 開催日：平成16年12月9日(木)午後3時～5時
議 題：(1)平成15年度外務省評価委員会業務実績評価の結果について (2)国際交流基金の改革について 他

[日本研究米国諮問委員会(American Advisory Committee for Japanese Studies)]

日本研究米国諮問委員会は、日米両国の文化交流が基金の活動の中で特に大きな割合を占めている事実に鑑み、基金の対米日本研究支援事業につき意見および助言を得るため設置されている機関で、米国の著名な日本研究者15名の委員で構成されている。

本委員会は、米国向けのフェロシップ・プログラム及び機関援助プログラムについて申請の審査・推薦を行なっている。

委員（姓のアルファベット順、敬称略）

Mary Elizabeth Berry	カリフォルニア大学バークレー校教授
Mary C. Brinton	ハーバード大学教授
Kent Calder	ジョンズ・ホプキンス大学教授
James C. Dobbins	オベリン大学教授
Wayne Farris	ハワイ大学マノア校教授
Laura Hein	ノースウェスタン大学准教授
William W. Kelly	エール大学教授
Ellis S. Krauss	カリフォルニア大学サンディエゴ校教授
Leonard Lynn	ケース・ウェスタン・リザーブ大学教授
Susan J. Napier	テキサス大学オースティン校教授
Laurel R. Rodd	コロラド大学ボルダー校教授
Yoshiko Yokochi Samuel	ウェズリアン大学教授
Leonard Schoppa	バージニア大学准教授
Veronica Taylor	ワシントン大学教授
Kristina K. Troost	デューク大学パーキンス図書館国際・地域研究部門長

[日米センター評議会委員]

センターには、日米両国の有識者からなる「日米センター評議会」が設けられている。事業の基本方針、重点分野、優先分野などは、年2回開催されるこの評議会の定期会合に諮られている。

委員（姓のアルファベット順、敬称略）

千野 境子	産経新聞社論説委員長
トーマス・S・フォーリー	前駐日米国大使
ウィリアム・E・フランクリン	フランクリン・インターナショナル社社長
バリー・D・ゲーバーマン	フォード財団上級副理事長
ルビー・P・ハーン	ロバート・ウッド・ジョンソン財団名誉専務理事
五百旗頭 真	神戸大学教授
マーティン・マイヤーソン	ペンシルバニア大学名誉教授
マイク・M・モチヅキ	ジョージ・ワシントン大学 シングル・アジア研究センター所長
小笠原 敏晶	株式会社ジャパンタイムズ代表取締役会長
緒方 四十郎	元日本銀行理事
大原 謙一郎	財団法人大原美術館理事長
椎名 武雄	日本アイ・ビー・エム株式会社最高顧問
田中 明彦	東京大学教授
エズラ・F・ボーゲル	ハーバード大学教授

[顧問]

藤井 宏昭	前国際交流基金理事長
平岩 外四	経済団体連合会名誉会長
ディヴィッド・ロックフェラー	元チューズ・マンハッタン銀行会長
ジョージ・P・シュルツ	元米国国務長官
梅棹 忠夫	国立民族学博物館顧問